

学校の教育目標：「自他を大切にし、共に伸びる児童の育成～元気・笑顔・成長～」

相良村立相良南小学校だより 校訓「やさしく かしこく たくましく」



# 元気・笑顔・成長！南小



Ver3.0

第20号 令和8年1月15日発行 発行者 校長 田口広治

児童数 167  
PTA数 122

## 3学期始業式 元気にスタート！



相良南小HP↑

- 3学期初日、朝の登校指導をしていると、子供たちが「あけましておめでとうございます」と元気よくあいさつをしてくれます。「今年もよろしくおねがいします」と丁寧に言う子供もいます。気持ちのよいスタートとなりました。
- 始業式では、代表の子供たちがスピーチをしました。冬休みは家族一緒に楽しく過ごした様子が分かります。3学期頑張りたいことでは、次のような話をしました。

2年荒嶽寛人さん：勉強を頑張りたいです。特に算数の筆算を頑張りたいです。もう一つは、字をきれいに書くことを続けたいです。

4年米田莉子さん：文章問題ができるようにしたいです。運動では、外に出て遊んで、体力をつけたいです。そうじではすみずみまで頑張りたいです。

6年生田響人さん：もうすぐ卒業なので、6年間を振り返りたいです。生活ではあいさつや返事を頑張りたいです。一つ一つのことを大切にしていきたいです。

- 校長の話では、箱根駅伝優勝の青山学院大学の取組について話をしました。

青山学院大学では、目標を決める時に工夫をしています。数字が入っています。目標に数字を入れて、達成できたかどうかを見て、次の目標を立てるようにしています。また、当たり前のことを当たり前にやるようにしているそうです。例えば、あいさつ、掃除、早寝早起きを、徹底しているそうです。それが強くなる秘訣だと分かっているからです。さらに、そういうことを自分で考えて動くようにしているそうです。人から言われてやるようでは、本当の力にならないからです。

さらに、南小の3学期の目標について、話をしました。

学校でどんなとき楽しいですか。例えば、友達と一緒にとき楽しいでしょう。でも、一緒に時に嫌なことをされると楽しくなくなります。相手が嫌と思うことを言ったことがある人が、令和6年度は18.9%、今年度は26.5%、増えていました。嫌なことをしない、相手を大切にする、これができると友達と一緒に楽しいとなります。

どんなとき楽しいですか。授業が分かる・できるときに楽しいと感じることも多いでしょう。「授業が分かる」と答えた人が、令和5年度92.7%、令和6年度92.9%、今年度93.4%、増えています。いいことです。2学期、自分の学びを大切にしてほしいと話を何度もしました。さらに友達と一緒に学ぶ、一緒に考える、話し合うことで、授業が楽しく分かるようになります。

3学期の目標「全員が楽しいと思える学校にする」が達成できるように、次のことを重点に頑張っていきます。

「相手を大切にする」「友達と一緒に学ぶ」「目標を達成できるように、自分で考えて動く」

■別府先生からは、生活面の話がありました。これまで継続的に「3つの頑張ること」に取り組んできました。毎月の生活アンケートの結果を点数化し、示されました（ここでは1学期末と2学期末を紹介します）。

あいさつ・返事	7月：84点	→	12月：79点
やさしい言葉	7月：72点	→	12月：76点
静かに行動	7月：71点	→	12月：72点

どの項目もさらに頑張る必要があります。『あいさつ笑顔　返事は「はいっ」』『みんな大切やさしい言葉』『ろうかは静かに　あるきます』を合言葉に意識を高め、よりよい生活ができるように頑張ります。



## 運動や外遊びの習慣化に取り組んでいます！

■1月13日（火）、朝から全校体育でした。この日はグラウンド不良のため、体育館で「ドン・ジャンケン」を行いました。縦割り班ごとに、2グループに分かれて、「片足ケンケン」で進み、出会ったところで「ジャンケン」をします。どの班も笑い声や歓声が上がり、とても楽しそうです。寒い朝でしたが、楽しく体を動かすことができました。子供たちは笑顔で教室に戻っていました。

■この日の昼休みは、運動場を使うことができました。運動場のあちこちで楽しそうに遊ぶ子供たちの姿がありました。4年生や6年生はサッカー、5年生もボールの蹴り合いをしています。3年生はドッジボールをしていました。1年生や2年生は鬼ごっこをしています。また、遊具で遊んだり、縄跳びをしたりしている子供たちもいます。

昼休みが終わって戻ってくる時には、汗をいっぱいかいっている子供たちでした。

■3学期も、健康を考えた生活のために、「運動・外遊び」の習慣化に取り組んでいきます。家庭でも、「歩いて登校」や「運動・外遊び」の声かけをお願いします。

